

くらしの安心だより

判断力の低下を自覚～高齢者運転教室を実施～

3月5日（月）、沢山地区集会所において、「高齢者運転教室」が開かれました。釜石地区交通安全協会大槌支会と沢山町内会の協力のもと行われた教室では、沢山地区の高齢者の方々が、釜石警察署交通課の千葉係長から、「高齢者のカラダの変化と交通安全」について講義を受けました。

運転シミュレーターを使った実践訓練では、参加者全員がリモコンを持ち、運転の映像の中で「危ない」と思った瞬間にボタンを押すテストが行われました。画面に表示された結果を見ると、ほとんどの人が危険の察知が遅く、事故を防ぎきれていない事が分かりました。

今回の教室を終えて、佐々木章夫町内会長は、「思ったよりもずいぶん判断が遅く、みんな驚いたと思います。いい経験になったので、今後の運転、また歩く時にも気をつける様にしたい。」と話していました。



- ・県内でも高齢者の死亡事故率が高い。
子どもは1名、高齢者28名（3月5日時点）
- ・お年寄りには自分より孫を大事にする。
反射材は、孫にあげずに自分でつけましょう！
- ・天候、季節、時間帯でも景色は変わる。
夜は速度や距離感が分かりづらくなるので、特に気をつけましょう！

町民課からのお知らせ

釜石地区交通安全協会大槌支会 黄色い通学帽を 新1年生へプレゼント

3月19日（月）、釜石地区交通安全協会大槌支会（岩間利夫会長）から、この春入学する町内の新1年生に対し、黄色い通学帽が贈られました。この黄色い帽子の寄贈事業は、平成元年から続けて行われており、本年度は、おなじみの帽子と併せて、あいおいニッセイ同和損保様より、黄色の横断旗も寄贈されました。代表して受け取った伊藤教育長は、児童の通学の安全確保への力強い協力に対し感謝を述べました。

この帽子は、新入学児童に手渡され、春からの登下校の安全確保に役立てられます。



【お問い合わせ】 町民課 環境生活班 TEL 0193-42-8713

大槌消防署からのお知らせ

東日本大震災から学ぶ 神戸大学留学生在が 消防団を訪問しました

3月10日（土）、神戸大学留学生5名と引率者5名が東日本大震災における消防団の活動、今後の課題を学ぶため、大槌町消防団を訪れ、越田団長ほか5名が震災当時の活動や課題について説明しました。

また、団員の芳賀さん、鈴木さんが写真などを使って吉里吉里・安渡地区の震災当時の状況を説明しました。

今回参加したのは、バングラデシュ、ミャンマー、インドネシアからの留学生の皆さんで、当町のほか、県庁防災室や沿岸被災地を訪問。

大槌町消防団の活動や課題を理解してもらおう貴重な国際交流の機会となりました。



【お問い合わせ】 大槌消防署 TEL 0193-42-3121



生きた証 回顧録を奉納



遺族代表 田中教之さん



生徒代表 永井瑚夏さん

大槌町東日本大震災津波 追悼式

3月11日（日）、大槌町東日本大震災津波追悼式が行われました。式典には390名が参列し、午後2時46分のサイレンとともに黙祷を捧げた後、昨年度に引き続き、「生きた証 回顧録」の第2版が祭壇に奉納されました。また、一般献花には、町内外から約700名が訪れました。

平野公三町長は式辞の中で、「復興のまちづくりは、犠牲となられた多くの方々への命、残された人たちの悲しみ、苦しみ、寂しさの上にあることを忘れてはいけません。今を、これから生きる人に、自然災害の恐ろしさを、命の大切さを、防災教育、防災訓練による「学び」により、心に伝えて参ります」「復興が進むことで、まちなみは大きく変わりますが、犠牲となられた方々と共有していた思いや、郷土を愛する気持ちは、これからもこの地に住み、新しいまちづくりの一員である私たちに引き継がれ、共に育まれていきます」と祭壇に向かい述べました。

遺族代表として挨拶した田中教之さんは、「この大震災では、多くの命と財産が犠牲になりました。災害にあつ

たらではなく、災害にあわないように危険を予知し、それを避ける行動をとることが、大事ではないか「町内では、新築住宅・公営住宅の建設が進んでいます。新居では、新しい気持ちで生活してほしいものです。私も前を向いて、精一杯生きていきます。そして、七年経った今日、未だ行方不明の方が、一日も早く見つかってほしいものです。私も必ずや、母が発見されることを願い、いつまでも待っています」と嘯みしめるように語りました。

最後に生徒代表として、大槌学園8年の永井瑚夏さんが追悼の言葉を述べると、「この7年間、たくさんの優しさや強さに支えられて生きてきました。尊い一人ひとりの命が教えてくれたことを力にして、一生懸命に生きていきたい。そして、誰かを支えることができるような人になりたいと思います」との言葉に、会場の参列者は、深く大きくうなづいていました。

